



# 協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.80



## 3月

発行 / 社団法人国際観光施設協会  
 総務委員会  
 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋  
 2-8-5 多幸ビル九段2階  
 TEL03-3263-4844  
 FAX03-3263-4845  
 E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp  
 URL : <http://www.kankou-fa.jp>  
 2011年3月3日

## 平成 23 年度を迎えるにあたって 副会長 山方茂利

早春の弥生に入り残すところ一ヶ月、会員各位のご協力で22年度の決算を迎える事が出来ます事に感謝申し上げます。

さて23年度は兎年、観光、都市再興の機運が上昇しウサギの様に跳ねるのではないかと期待している一人です。東京スカイツリーと墨田地区、東京駅を中心とした大手町界隈から日本橋、関西においても御堂筋に高級ホテル開業、梅田駅周辺の開発、九州の玄関口である博多駅ビル建設中など、また空においては千歳空港、羽田空港の国際化も進み、そして陸においては新幹線も青森から鹿児島まで結ばれ、交通インフラも整備されました。

相呼応して、国内はもとより、海外からの観光客を呼び込もうとリゾート温泉施設のホテル、旅館は、自ら接客に必要な英語に加え、中国語、韓国語の従業員への習得を急いでいます。また有名な観光地では旅行センターを設け、様々なサービスの提供を始めました。

1月末、日本政府観光局から2010年の訪日外客数が過去最高の861万人【前年比26.8%増】と発表されました。漁船衝突事件の影響で10月以後減少している中国からの訪日客は、それでも大幅増の141万人を記録したといえます。(韓国から244万人)

私は2月初旬、春節を利用して中部地区のリゾートホテルに何台もの大型バスで到着した中国からの団体客に偶然遭遇しました。ロビーで、エレベーター前、風呂場、食堂で、その迫力に絶句、パワーを体験しました。いずれにしる国内、国外を問わず旅行者満足、再来客につなげて行くためには、にわか創りの対応や造作でなく、気配りが出来たハード、ソフトが必要であることを痛感しました。

23年度は、このような観光市場の上昇機運をチャンスと捉え、また国の施策、観光圏整備法「国際競争力の高い魅力ある観光地づくりの推進」に歩調を合わせ、ハードとソフトの両面を合せ持つ唯一の集団である「国際観光施設協会」として、出来る範囲の事業に皆さんの同意を頂きながら積極的に活動して行きたいと考えています。

会員の皆様には、市場動向を注視していただくためにも協会の事業、技術委員会、交流部会などに参加され、情報を入手していただきビジネスチャンスに結びつけられる様期待致します。

23年度は新たな「公益法人」に移行する準備も最終段階にきています。会員の皆様にご理解頂けるよう努力して参ります、ご協力をお願い致します。

## HOTERES JAPAN 2011 報告 ホテルズ実行委員長 浅野一行

2011年第39回ホテル・レストランショーが2月22日～25日に開催され、84,251名の入場者を得て、盛況裡に終えることができました。

今回で2年目となる当協会主催の特別企画「エコ達人村の無料相談」は、エコの考え方で観光施設の省エネを図り、より小さなエネルギーで運営できる観光施設への転換を相談形式でご提案するものです。会期中、事前予約をいただいた17社のホテル・旅館関係者に対し、協会の誇るエコ達人(会員企業12社、設計事務所4社)が、各社の優れたエコ技術・得意分野をもって、1社1時間をかけて相談にあたり大変喜ばれました。

前回と比べ進化した点としては、建築系のエコ達人が1社加わったこと。エコ達人村の目指す小エネルギー化は、自然の力や土地の力を上手に使う環境と共生することが最終目標ですので、今後、自然エネルギー利用などの建築系をもっと増やしていきたいと思っています。

また、ブース壁面を使って技術委員会の活動状況をご紹介しました。今回は、温泉のまちづくり、観光地評価、避難絵図などを取り上げましたが、次回はより多くの活動を紹介できればと考えています。

最終日25日には「水光熱量30%削減への挑戦」のタイトルで、パネルディスカッション方式のセミナーを開催。昨年相談に来られ、その取組みが成果を上げられているホテル・旅館の方から、現場の生の声を発表頂いたり、先進的な取組みをされているホテルの施設管理者のお話を伺うことができ、30%削減も決して夢ではないと、入場者約90名の方々が熱心に聴講されました。

## 建築部会の活動方針とこれからの予定

建築部会長 森 一郎

“施設協会会員になってよかった”と、会社や同業業界では得られなかったような知識や経験、そして人脈の構築等が交流部会の建築部会でゲットできるように期待して活動したいものです。具体的には幹事会で協議する予定ですが、たとえば東京駅丸の内駅舎とステーションホテル、元気なビジネスホテルチェーン、顧客満足度5年連続日本一のホテルチェーン、銀座、佃島、下北沢等の路地と路地園芸サミット、超高層解体見学、靖国神社の屋外パーティ研修等、建築単体の見学ではなく町並や都市計画を含めた視点で建築部会の活動を行なえたらいかがかと予定します。

## 設備部会の活動方針とこれからの予定

設備部会長 横山 豊

設備部会は所属会員で構成される二つのワーキンググループ(WG)の活動を前年度より引き続き行ないます。保全WGは「旅館・ホテルの設備保全マニュアル」の第4回目を観光施設4月号に、第5回目を7月号に発表いたします。環境WGは年3回開催を予定し、環境問題の研究を行ないます。又幹事または会員会社の新製品の見学・研究会を行い、その見学記を観光施設に発表します。設備部会幹事会はWG開催前の同日開催で年間3回開催し、協会活動報告、WG進捗の確認及び情報交換を行います。ホテルズ行事の「エコ達人村の無料相談」へ相談員の参加協力や、年間を通して行う実務者講習会への協力を行う予定です。

## インテリア部会の活動状況とこれからの予定

「企画からの参加で、交流を深めよう」

インテリア交流部会長 佐藤英嗣

平成22年度は、施設見学会では取壊し前の「歌舞伎座」を見学、新情報発信研究会は石井亜由美氏を講師に「心をつかむホテルの色」と3月予定の内原智史氏講師の「光のレシピ」の2回を開催。セミナーは中村裕氏と宇田倭玖子氏を講師に「現場が教えてくれること」をテーマに開催。企業見学会は、企画を来期に順延。4活動の企画段階からを含めた参加者は合計360名となり、活発な活動を行っています。

平成23年度も、この4グループの活動を基盤とし、企画協議を通じた相互のコミュニケーション向上と、企画実行による最新の施設・情報・知識等の共有を推進します。所属会員の方は、企画段階の協議からご参加いただき、会員相互の交流を深めましょう。

## 平成23年度通常総会開催日及び会場について

来る平成23年度の通常総会は6月15日(水)大手町の経団連会館で開催することにしました。総会後のセミナーは経団連会館に因んだ講演が望ましいことから大手町市街地再開発事業について開発主体の三菱地所(株)へご講演をお願いする予定です。

## 賀詞交歓会 報告

1月11日ホテルメトロポリタン・エドモントにおいて平成23年賀詞交歓会を開催、173名の会員が新年を寿ぎ相互に交流を深めあいました。

年頭にあたり、中山会長より「現在は不況だといわれるが、これが常態ではないか。戦後何もなかった所から立ち上がったことを考えると今は恵まれている。不景気だ、不景気だと政治のせいにするのは止めて自分たちで考え、自分たちの力で変えて行こう。明治維新の坂本龍馬もそうだが日本人にはそういう力がある。その土地にある力を活用し国際競争力の高い観光施設づくりをこれからも考えて行こう」との挨拶がありました。

## 協会からのお知らせ

NHK 4月からの国際放送で、新番組Begin Japanologyが始まりますが、BS-1でも放送されます。

世界ではあまり普及していないが、日本ではあたりまえの商品などが取り上げられます。外国人観光客への対応など参考になる点が多いと思われます。観光施設と関係の深いトイレも下記の時間に放映されます。

NHK BS-1 4月15日(金) 14:00~14:28

## 新入会員紹介

### [メーカ] ㈱日本サーモエナー

(代表者)代表取締役 (担当者)エネルギー事業部  
榎本貞良 部長 岡崎慶明  
〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-2  
TEL03-5777-3403 FAX03-5777-3442  
業務内容：機械機器 製造・販売・メンテナンス

## 第98回ゴルフ会のご案内

春のゴルフ会を2011年5月19日(木)に『相武カントリー倶楽部』にて開催致します。今回は東京都八王子市の名門コースを低予算で予約出来ました。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

### ♥編集後記♥(新公益法人移行について)

1月に行われました理事会において、新しい法人への移行に関する協会の方向づけが確認されました。私達が現在行っている事業は、どれをとっても公益目的事業といえるものばかりであることから、引き続き公益法人として活動できるよう「公益社団法人」へ向けた準備を進めることになりました。

新しい法人に切り替わるためには、新公益法人に向けた定款の変更、事業の整理、会計処理の整理等の準備が必要になります。具体的には、事務局において新たに専門家の意見を参考にしながら個々の案をまとめていき、再度理事会での確認を受けた後、総会において皆様の決定を頂くこととなります。

公益社団法人への移行について、ご意見、ご質問等がございましたら事務局までご連絡下さいますようお願いいたします。 総務委員会 Y.K